



愛宕っ子

令和8年2月6日

旭川市立愛宕小学校

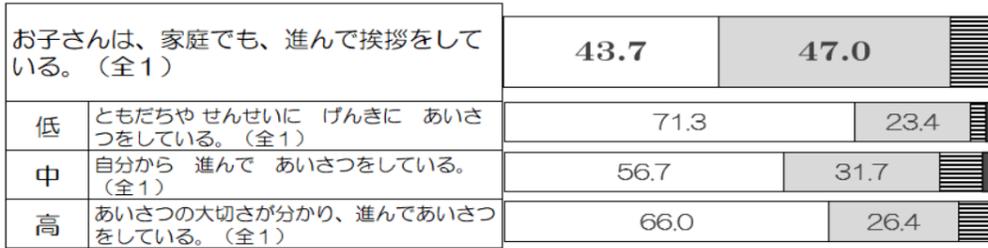
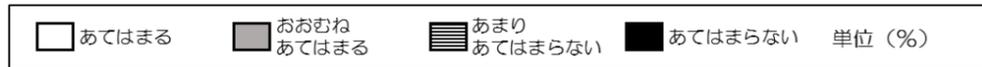
学校だより 特別号

向春の候、保護者の皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

2学期末に、Googleフォームで回答いただきました「教育に関わるアンケート」の結果を基に、新年度に向けた教育活動への取組の方針を検討しましたのでご報告いたします。

保護者の皆様には、教育活動に関わる14の質問をそれぞれのお子さんについて回答していただきました。今期は、3年生以上のタブレット毎日持ち帰りの開始など、学び方に大きな変化がありました。また、学校課題を受けて開始した「アイ愛タイム（仲間づくり・集団づくり）」・「GOGOタイム（運動習慣）」などの取組が3年目に入りました。昨年度との違いが数値に表れているところは、考察に示すようにしました。

新年度に向けた教育活動への取組の方針を基に今後の教育活動に取り組んでまいります。今後も愛宕小学校の教育活動へのご理解・ご協力をお願いいたします。



前期に比べ、保護者の肯定的な回答は少し増え、「あてはまらない」の回答も減りました。家庭でも挨拶の大切さを指導していただいていることが分かりました。

児童の回答では、特に高学年の回答が前期に比べ、「あてはまる」の回答が10%程度増えました。高学年は、挨拶の必要性を自覚し、進んで挨拶する姿が見られました。

高学年の姿を見て、下の学年の児童も挨拶をしていき、愛宕小学校が挨拶のあふれる学校を目指してまいります。



前期に比べ、保護者の回答には大きな変化はありませんでした。

児童の回答は、前期に比べると、どの学年でも「あまりあてはまらない」の割合が増え、二極化が進んでいます。学校では、家庭学習の必要性や、お子さんに合った学習の取組方を伝えていきます。

学習内容を理解するためには、学校だけでなく、家庭で復習することが不可欠です。ご家庭でも、引き続き声掛けや励ましをお願いします。



前期に比べ、保護者の「あてはまる」の回答が8%増え、「あまりあてはまらない」と回答している割合も増えました。

児童の回答では、前期に比べ、「あてはまらない」と回答した児童は減りました。学校では、自分によさがないと思っている児童に対し、個別に話をし、直接「よさ」を伝えました。今後も継続して児童のよさを伝えていきます。

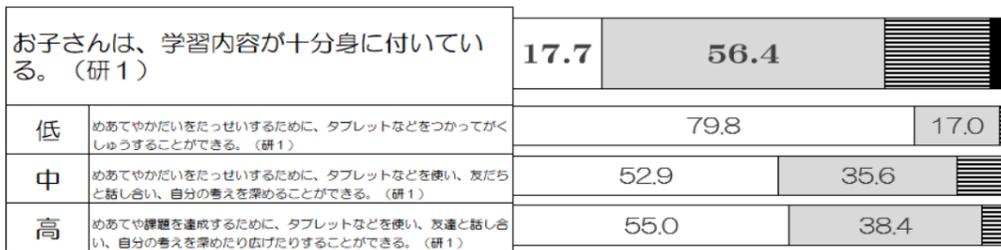
ご家庭でも、大切な存在であることや、お子さんのよいところを伝える時間を意識してつくりましょう。これからも、学校と家庭で意識してお子さんのよさを言葉で伝えていきましょう。



保護者の回答は、前期とほぼ変わらない回答でした。家庭ではあまり読書をする姿は見られないことが分かりました。

児童の回答は、前期と比べると高学年が10%程度上昇しています。また、7割程度の児童が読書に対して肯定的な回答をしています。学校での読書週間や読み聞かせなどの活動を通して、読書への関心が高まったと考えます。

これからも、休み時間の過ごし方や朝の読書の時間や読み聞かせなどを通して、本を読むことの楽しさを伝えていきます。



今回、「学習内容が十分身に付いている」という設問と「家庭学習の習慣が身に付いている」という設問とを比較すると、「家庭学習の習慣が身に付いている」と答えた家庭は、概ね「学習内容が十分身に付いている」と回答していることが分かりました。

児童の回答は、前期と比べ肯定的な回答が増え、タブレットを使って理解を深める児童が増えました。

これからも、基礎・基本の定着に向けて、家庭と連携して取組を進め、タブレットを使った「分かる」「楽しい」授業づくりを進めていきます。

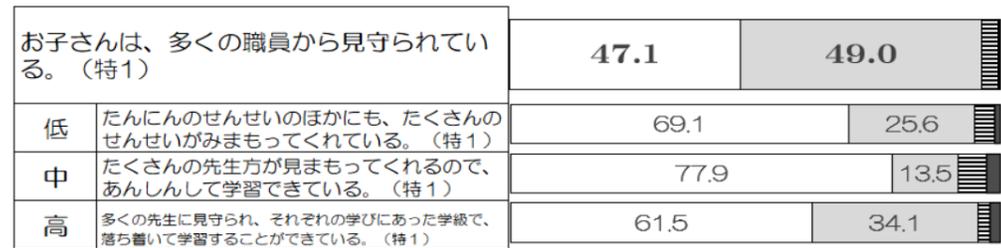


※児童への質問はありません。

前期は3年生以上の保護者の回答の数値を示しましたが、10月から1年生も週末のタブレットの持ち帰りを始めましたので、後はすべての学年の数値となっています。

前期と大きな変化はなく、7割以上の保護者の方が肯定的に回答していました。

学校では、これからもタブレットの使い方の約束を子どもたちと再度確認し、発達段階に応じたタブレットを使った家庭学習を広げていきます。



前期と比べ、保護者の肯定的な回答が3%程度上昇しました。

児童の回答は、前期同様9割以上の児童が肯定的な回答をし、多くの教職員に見守られ、安心して学習に取り組んでいることが分かりました。

否定的な回答をした児童に対しては、聞き取りやお子さんに寄り添った声掛けを行いました。これからも、教職員による丁寧な声掛けや、見守りを継続して行っています。

お子さんは、学校のきまりを守って生活している。(生1)		48.1	45.9
低	がっこうのきまりをまもってせいかつしている。(生1)	48.9	42.6
中	学校のきまりを守って生活している。(生1)	59.6	36.5
高	るよう、自分で考えて行動することができている。(生1)	57.1	36.3

保護者、児童ともに、肯定的な回答が9割を超え、前期とほぼ同様の結果となりました。
多くの児童が「きまり」を大切にしていると考えられます。
今の社会は、スマホなどを通して簡単に世界とつながることができます。学校は、これからも学校のきまりだけでなく、メディアのきまりやマナーを守る必要性も子どもたちに分かりやすく伝えていきます。

お子さんは、学校に楽しく通うことができている。(生2)		51.7	40.3
低	ることをたのしむことができている。(生2)	77.6	16.0
中	アイ愛タイムなどとおして、友だちとの交流を楽しむことができている。(生2)	78.9	10.6
高	話を聞いて交流することを楽しむことができている。(生2)	62.6	30.8

保護者の回答は、前期同様9割以上が肯定的な回答となりました。
児童の回答は、前期と大きく変わることなく肯定的な回答が9割程度を維持しています。自他の感情に気づき、集団で行動する力を育む「アイ愛タイム」(構成的グループエンカウンター)の取組は3年目になります。学校は、子どもたちが飽きないように新しいエクササイズを取り入れ、友達と関わることは楽しいことだと伝えていきます。

お子さんは、事故やけがなど、安全に気を付けて生活している。(生3)		51.3	45.9
低	あぶないことをせず、けがなどにきをつけてせいかつすることができている。(生3)	64.9	27.7
中	あぶないことをせず、けがなどにきをつけて生活することができている。(生3)	62.5	28.9
高	周りをよく見て、けがなどに気を付けて生活することができている。(生3)	67.0	27.5

前期と同様に、保護者、児童ともに9割以上が肯定的な回答でした。安全に気を付けて生活しようとし、ご家庭でも声掛けをしていただいていることが分かりました。
学校では、児童の実態に応じた安全指導を継続するとともに、冬ならではの危険を想定した安全指導・校外巡視などを継続していきます。

お子さんは、友達と良好な関係を築き、安心して学校生活を送っている。(対1)		43.9	51.1
低	ともだちとなかよくでき、あんしんしてがっこうにきています。(対1)	73.4	22.4
中	友達となかよくすごすことができ、安心して学校にかよっている。(対1)	72.1	22.1
高	友達との関係がよく、安心して学校に通っている。(対1)	63.7	28.5

前期に比べ、保護者の回答は変わりなく9割以上が肯定的な回答でした。
児童は、前期と比べ、「あてはまる」と答えた児童が各学年で増えました。否定的な回答をした児童に対しては、担任が個別に話を聞き、不安な思いを受け止めるような声掛けを行いました。これからも、子どもたちの心の成長を促し、より良い関係を築いたり、広い視野で人間関係を把握したりできるよう、支援していきます。

お子さんは、積極的に体を動かしたり、運動をしようとしていたりしている。(保1)		51.1	30.7
低	たいいくのじかんに、すすんでうんどうをしている。(保1)	83.0	13.8
中	体育の授業で、めあてをもって取り組んでいる。(保1)	68.3	23.1
高	体育の授業で、自分のめあてを達成するために、工夫して取り組んでいる。(保1)	53.9	40.6

前期と比べ、保護者の「あてはまる」の回答が5%上昇しました。
児童の回答は、前期同様肯定的な回答が9割を超えました。雪が降り外で遊ぶ機会が減っていますが、学校では築山でのそり遊びなど休み時間の外遊びを行っています。また、学校だよりでGOGOタイムの様子をお伝えしました。
これからも、体育の授業だけでなく、日常の体育的活動を通して、お子さんの体力向上を図ります。

ご家庭では、早寝・早起き・朝ごはん等、お子さんに正しい生活習慣を身に付けるための声掛け等を行なっている。(保2)		47.0	36.9
低	はやね・はやおきをしてあさごはんをたべている。(保2)	54.2	33.0
中	早寝・早起き・朝ごはんをいしきするなど、きそく正しい生活をしている。(保2)	44.2	38.4
高	早寝・早起き・朝ごはんなど、正しい生活習慣を意識して過ごしている。(保2)	46.1	39.6

前期に比べると、保護者の肯定的な回答が少し上昇し、「当てはまらない」の回答が大きく減少しました。ご家庭でも「早寝・早起き・朝ごはん」を意識して生活していただけたことが分かりました。
児童の回答も、前期と比べると肯定的な回答が上昇し、児童自身が意識をして生活をしていることが分かりました。
これからも、家庭と連携し、生活リズムチェックシートなどを活用して、生活習慣の確立を目指します。

お子さんは、家庭でも身の回りの整理整頓を意識して過ごしている。(保3)		15.4	38.2
低	つくえやロッカーのなかをきれいにしている。(保3)	53.2	30.9
中	机やロッカーの中をせいりせいとんしている。(保3)	52.9	31.7
高	整理整頓の大切さを理解して生活している。(保3)	56.1	31.8

前期に比べ、保護者の「あてはまる」の回答が3%上昇しました。
児童の回答は、前期同様肯定的な回答が8割を超え、保護者の回答との差が見られます。家庭では、自分が片付ける前におうちの人が片付けている等、必要感がない可能性が考えられます。
学校と家庭どこであっても片付けると気持ちが良いことだという美化意識を高めるための指導や、整理整頓の定期的な声掛けを引き続き行っていきます。

低	がっこうには、テレビやボールなど、ペンきょうにひつようなどろくがそろっている。(事2)	78.7	18.1
中	学校には、テレビやボールなど、勉強にひつような道具がそろっている。(事2)	79.8	18.3
高	学校には、テレビやボールなど、学習に必要な道具が整っている。(事2)	80.2	18.7

児童のみの回答になります。すべての学年で、前期同様肯定的な回答がほぼ100%に近い数字でした。
今年度は、エアコンが全学級に導入され、快適に学習できたことが肯定的な回答につながっていると考えます。次年度は、タブレットからchromebookに代わります。
これからも、限られた予算の中で、子どもたちのための教育環境の整備に努めます。

※児童のみの質問です。



愛宕小学校の教育活動に引き続き、ご理解とご協力をよろしくお願い致します！

